

発行 能美市民生委員児童委員協議会
編集 能美市民生委員児童委員協議会広報委員会
責任者 生田 綱代

第22号

こんにちは

能美市民生委員・児童委員です

～いつもあなたのそばにいます～

永年勤続民生委員児童委員表彰を受けられました



佐々木委員

山本委員

中村委員

永年勤続民生委員児童委員表彰を受けて 辰口地区民生委員児童委員協議会会長 中村 三朗(宮竹町)

平成二十二年十二月一日に、民生委員・児童委員に委嘱されて十一年が経過しました。これまでの活動を振り返ると様々な思い出が走馬灯のごとく浮かんで消えていきます。

委員になりたての頃は、高齢者宅への訪問も、なんとなくちぐはぐな会話から始まっていました。何度か訪れる事で顔見知りとなり、徐々に打ち解けて会話も弾んでいきました。

活動の中に自分なりの楽しさを見つけ、やる気を出すことが次なる行動に繋がり、頑張りうと力が湧いてきました。ただ力を入れすぎてもだめで、肩の力を抜いて活動に臨むことが大切であることに気づかされ、それ以後は、リラックスを心掛けています。苦しい時や解決できないことは、社会福祉協議会やあんしん相談センターに繋ぎ、自分自身を常に身軽にして対応すべきです。それが長年の民生委員・児童委員として、やってこれたと思っています。

このところ新型コロナ禍のなかで、中々コミュニケーションを取る事が出来ません。研修会やミーティングが実施できずに苛立ちや、やりきれなさや募り、コロナ収束が待たれるところです。

「常に感謝と笑顔」を信条に今後も見守りや、子ども達の登下校には、十分気を配り対応していきたいと考えております。

新年研修会を開催しました。



講師 東 伸明氏

一月十九日(水)、辰口福祉会館にて、講師に野々市市民生委員児童委員協議会会長の東伸明氏をお迎えし、「野々市市民協の試み〜タブレット端末を用いた民生委員・児童委員活動の「ICT化」〜と題し講演をしていただきました。

野々市市民協では、担い手不足の改善に向けて、仕事をしながら委員活動をする人が参加しやすい環境づくりや、事務処理の効率化(ペーパーレス



化)のためにタブレットの導入を考え、「Web検討委員会」を設置し、金沢工業大学と連携して準備をすすめてきたそうです。

「みんな初心者だからわからないのはあたりまえ」という雰囲気の説明会を開催し、「Web検討委員会」のメンバーが中心となってサポートし、タブレット端末の操作についてこれない人を作らないよう工夫されたそうです。現在、タブレット端末を、①資料のペーパーレス化、②オンライン会議・研修会の参加、③委員同士の連絡・コミュニケーションに活用しているそうです。

「これまでの民生委員・児童委員活動では、人と人が対面してコミュニケーションすること大切にしてきました。コロナ禍での活動の継続、民生委員・児童委員の担い手の確保、働きながら委員活動をする人の増加を考えるとタブレット端末やICTの活用は有効です。ただし、必要に応じて使い分けて民生委員・児童委員活動を進めていきたいです。」と話されました。

能美市民生委員児童委員協議会もタブレット端末導入に向けて、一歩前に進めた研修となりました。

(小西 佳美)

お問い合わせは 能美市民生委員児童委員協議会

●事務局
〒923-1121
能美市寺井町8番地1
ふれあいプラザ2F
TEL:0761-58-6200
FAX:0761-58-6250
(能美市社会福祉協議会内)まで

●ホームページアドレス
<http://www.nomi-shakyo.jp/c23.html>



*各地区の民生委員・児童委員、主任児童委員はこちらのQRコードから入りご確認ください。

地域での活動



いきいきサロンでサンタに変装



保育園でのあいさつ運動



コロナワクチン接種 Web 予約支援

各部会の研修会報告

高齢者福祉部会

地域包括ケアシステムとは 生田 絹代

高齢者福祉部会の研修は新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となりました。そこで能美市「いきいき共生課」でご用意いただいた資料を元に感想を申し上げます。

能美市の高齢化率は26%、要支援・要介護認定者数、認知症の高齢者も増加しています。高齢になっても安心・安全に暮らせる地域を目指すためには、地域住民が、人と人と資源をつなぐ地域共生社会「我が事丸ごと」に取り組みする必要があります。

能美市では在宅医療の環境も整ってきています。互助活動支援のための資金支援体制も整っています。各地区の「あんしん相談センター」もサポートしています。それらを活用して、「住み慣れた地域で自分らしく住み続ける」為にもっともっと手をとりあい、支え合いの仕組みづくりが重要だと思いました。



障がい者福祉部会

〜生きることはつながること〜 津田 康則

今年度の研修会では、重症筋無力症という難病のある辰口町の辻里恵さんをお迎えしてお話を聞きました。辻さんは自身の難病経験を語り、語り部活動を通して、改めて自分の命を慈しんでくれた家族と向き合い、難病をかけたがえのない経験として自分を肯定的にとらえるようになりました。そして、それを発信することである人とつながっていききました。生きることはつながることだということ自身を経験を通して語られました。

地区の民生委員・児童委員の元山さんが感想を寄せてくださいました。

「初めて訪問した時の第一印象は、大変な障害を抱えていながら、受け答える姿が家族全員、実に明るいということでした。この辻さんとお母さんがどんな困難にも打ち勝ってきた姿だと思えます。障がい者本人の本音を聞き、民生委員・児童委員としてどう接して活動すべきかを学んでいきたいです。」

元山委員が辻さんとつらつらに深くつながったことをうれしく思います。



主任児童委員会

「主任児童委員」も民生委員・児童委員の仲間です。 森 義久

能美市の民生委員・児童委員、主任児童委員は93名で、うち9名が「主任児童委員」です。民生委員・児童委員は各町の担当として地域の皆さんへの必要なサポートをしています。主任児童委員は小学校校下に原則一人ずつです。少し幅広い活動になります。もちろん、一般の民生委員・児童委員の皆さんと共に活動することも多々あります。

具体的な活動としては、一定の条件の中で申し込みされた子育てママに「子育て応援弁当」を月に6回届け、出産や子育てで心配なことがあればお話しを聞き、関係先を紹介したりしています。今年に入り、県民児童連から、主任児童委員の活動について取材を受けました。他市町の活動状況も合わせて主任児童委員対象の研修資料として編集されることなので、研修会に活用したいと思います。

その他、各小学校の運営協議会(コミュニティスクール)の委員として活動し、子ども達の教育・生活を応援しています。



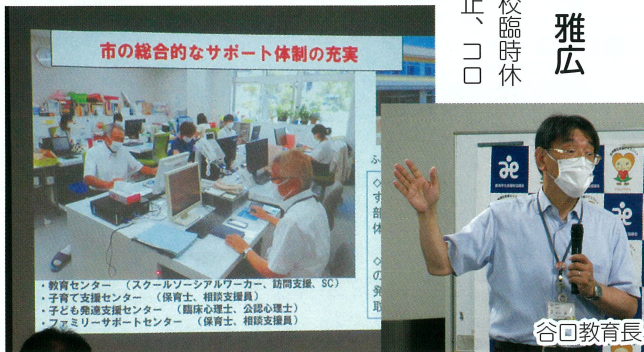
児童家庭福祉部会

△コロナ禍で得たもの▽ 小路 雅広

市児童家庭福祉部会長となり、経験の無い学校臨時休校・目しか見えないマスク生活・各行事開催中止、コロナウイルスで生活スタイルが一変しました。

その後時間が経ち、谷口教育長ご出席の対面研修が開催できました。教育長から登校児童の検温活動や感染予防に携わる地域の方への感謝の言葉を戴きました。顔が見えない子ども達とのふれあいが、声や草でコロナ禍に耐えているお互いの気持ちが通じ合う活動だと気づきました。

教育長から、学校生活で少し皆と違う道を歩んだ子ども達も全員がそれぞれの希望する進路へ進めた事を聴き、改めて「まるごと」をお願いできる能美市の教育環境に感謝です。



全国民生委員児童委員連合会 永年勤続民生委員児童委員表彰 受賞おめでとうございました。

※対象：現在、民生委員・児童委員の職にあって、在任期間が通算10年以上の方

根上地区民生委員児童委員協議会

山本 孝治 (吉原金屋町)

私が民生委員・児童委員を拝命してから早いものでもう十一年という月日が経ちました。この十一年の間には、随分と世の中が変わり、近年ではコロナ等によって人々の行動が制限されており、特に高齢者の方々が「近所との付き合い、又社会との交流が取りづらくなってきており、我々委員の活動そのものが変化してきたように思います。」

民生委員・児童委員としての見守り、それ以外の活動も少しずつ増えてきて行動日数が多くなってきているように思います。人生百年時代と言われる時代に入り、我が町内にも九十歳以上の方が何人もいらっしゃいます。又病院入院、施設に入所されている方もいます。そのような方々の情報が入手しにくくなってきているのが実状です。

町内会及び地域の方々とのつながりを大事にし、関係機関との間を円滑に持つていくことで、活動がスムーズになり、しはは次の委員へのバトンタッチもスムーズではないかと思えます。

根上地区民生委員児童委員協議会

佐々木 久美子 (福島町)

私が民生委員活動に携わることになったのは、定年退職により仕事有一段落し、これからの余生を楽しみにしていた頃でした。町内会長の思いがけない訪問で、不安な気持ちの中「できることをやればいいんですよ」という言葉に勇気づけられ、福祉活動に取り組みを決意しました。

いざ地域の中に入り実際に活動を進めていきますと、他の方よりも地域の実情を知る努力が必要でした。これまでの活動を振り返れば切りがありませんが、月日が経つと共に意思の疎通が徐々にスムーズになり、大変うれしい思いをしました。又、色々な事を教えていただいたりしてお互いの信頼関係も築けるようになりました。勿論嬉しいことばかりではありませんが、委員同士の連携、先輩委員の助言、各種行事・研修会等への参加や協力で得た貴重な体験と知識は、異なる分野への理解や他の地域の様子を知るうえで大変役に立ちました。

この度の永年勤続の受賞にあたり、これまでの活動中に頂いた温かい励ましに感謝し、コロナ収束と以前の活動が出来るよう心より願います。



左から、森委員、富田委員、生田委員(寺井地区)、中西委員(辰口地区)

第17回 能美市社会福祉大会 社会福祉功労者表彰受賞

※対象：在職(活動)年数が7年以上の民生委員・児童委員、主任児童委員